

	<h1>ほほえみだより</h1> <p>笑顔いっぱい 生き生き 今日も来てよかった治田東の子ども</p>	栗東市立治田東小学校
		最終号
		令和6年3月22日

コロナ制限明けの一年間を振り返って

第41回卒業証書授与式（3月19日）を無事終え、6年生84名が思い出いっぱいの小学校を巣立っていきました。式には在校生を代表して4・5年生が参加し、保護者の皆様と共に、静粛な中、心温まる式を挙行することができました。卒業生は、6年間の思い出や感謝の気持ち、決意を力強く述べてくれました。一人ひとりのこれからの人生にたくさんの幸せがあることを願い、心から応援したいと思います。そして3月22日には、1年生から5年生までの児童が修了式を迎えました。

思い返せば今年度の初めに、ようやく新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、学校生活の様々な制約が緩和されました。全校児童がそろって学校行事や児童会活動を行うことや、マスクを外して見せる子どもたちの豊かな表情に喜びを感じる日々でした。また、私たち教職員は、制限解除により、単に全てを元通りに戻すのではなく、コロナ禍の中で積み上げたアイデアや工夫を継承しながら、子どもたちにとって充実した教育活動ができるよう努めてまいりました。

一方で、制限が明けた学校生活の中では、これまで経験できなかった活動の再開や子ども同士の交流の広がりにより、楽しさばかりでなく、思い通りにいかないことや自分の思いを伝えきれずにトラブルが生じることが増えたのも事実です。同世代の子どもが集う学校での集団生活やきまりのある生活の中で過ごすことは、大切にしてくれる家族に囲まれた家庭とは違い、大きなストレスを与えることもあります。しかし、友だちとの行き違いを経験したり、話し合っ解決したり、気持ちを切り替えたりする経験をする事、それが学校本来の学びなのかもしれません。そうした学びが復活できたこの一年間の日々の積み重ねは大きな成果です。

こうした本校の教育活動は、実に多くの方のご協力・ご支援で支えられてきました。登下校の安全を見守ってくださったスクールガードの皆様、はるひが応援団でボランティアとして教育活動を支えてくださった皆様、授業等で協力いただいた皆様……。その時その時の出会いで、確実に子どもたちは温かい心をいただいたと思います。そのことに感謝し、今後さらに素晴らしい出会いをと願います。

最後になりましたが、本校の教育活動に多大なご支援とご協力をいただきました保護者の皆様に感謝申し上げますとともに、これからもお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。



<p>わかばっこ のささやく※</p> 	<p>3月14日（木）に全校児童がそろって、卒業式のリハーサルを行いました。5年生が心をこめて準備してくれた会場で、本番さながらの予行練習ができました。当日の参加はしない1～3年生に6年生の姿を見てほしい願いがありました。全校児童で歌う校歌や「さようなら」の歌声が体育館に響き渡り、素晴らしいものでした。そして、6年生のこれまで見たことがない立派な姿に、他学年の子どもたちが「すごかった」「泣いちゃった」など、感動した思いを私へ伝えてくれてうれしかったです。</p>
---	---

※今コーナーは、日常生活の中で子どもたちの様子から感じたことをささやくコーナーです。